

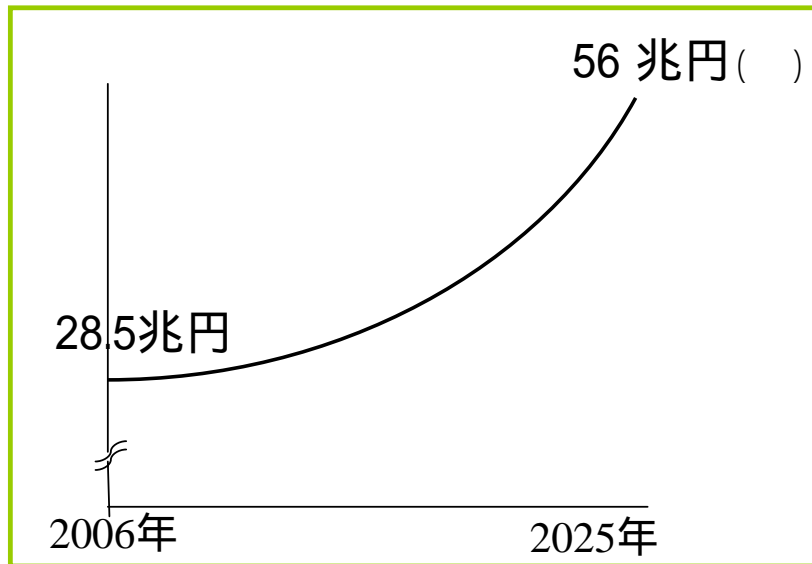
IT新改革戦略
ITによる医療の構造改革

平成18年8月3日

内閣官房 情報通信技術（IT）担当室

我が国の医療の課題と改革の方向性

医療給付費の将来見通し



H18診療報酬改定で48兆円

医療制度改革大綱(H17.12)

1. 安心・信頼の医療の確保と予防の重視
2. 医療費の適正化の総合的な推進
3. 超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現

**ITの構造改革力の発揮
により改革を推進**

ITによる医療の構造改革 基本的な考え方

重点計画2006 「ITによる医療の構造改革」の基本的な考え方

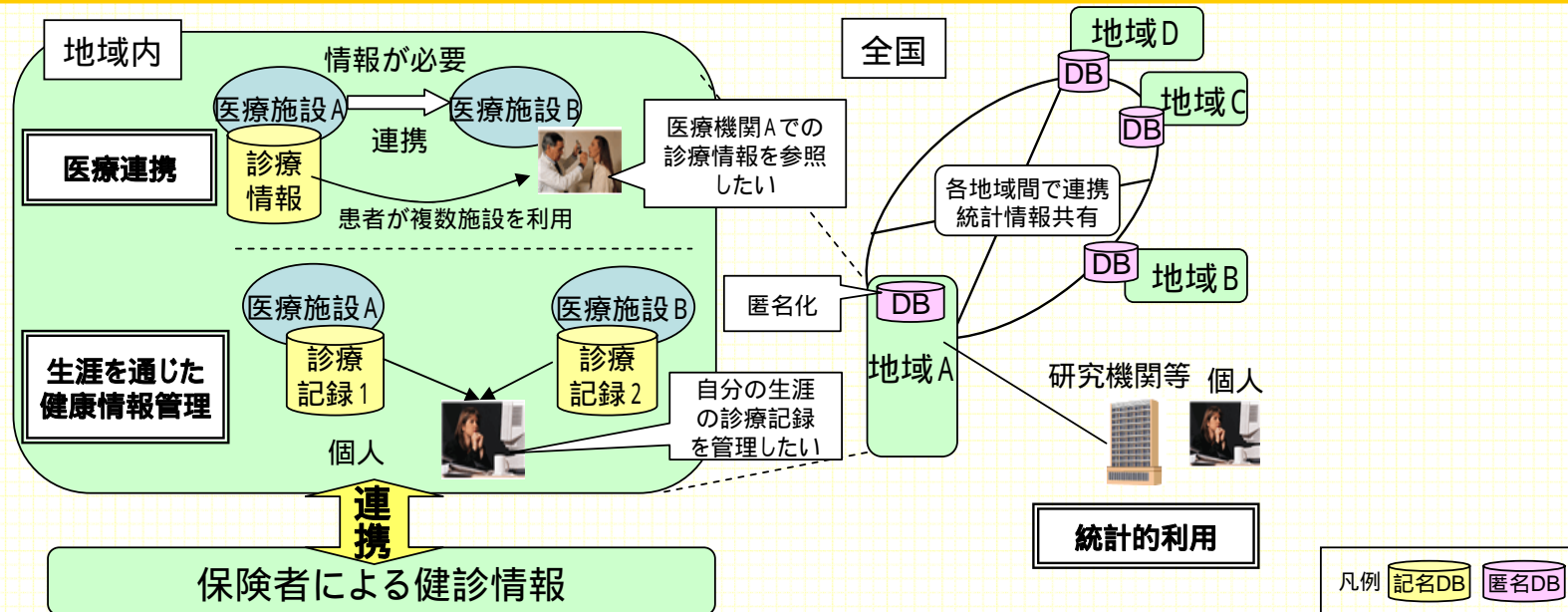
医療・健康・介護・福祉分野の横断的な情報化政策(グランドデザイン)の策定

医療・健康・介護・福祉分野全般にわたり有機的かつ効果的に情報化を推進する。

質の高い医療や医療安全の確保、地域医療連携の推進及び医療健康情報の予防医療等への活用

電子カルテ等の医療情報システムの普及を推進し、医療の質の向上、医療安全の確保、医療機関間の連携や全国的な健康情報の活用等を飛躍的に促進する。また、個人の健康情報を「生涯を通じて」把握できる基盤を作り、国民が自らの健康情報を活用し、健康増進に努めることや保険者による高度な保健指導の実現を支援する。

医療機関の連携及び医療・健康情報の活用イメージ



ITによる医療の構造改革 基本的な考え方

重点計画2006 「ITによる医療の構造改革」の基本的な考え方

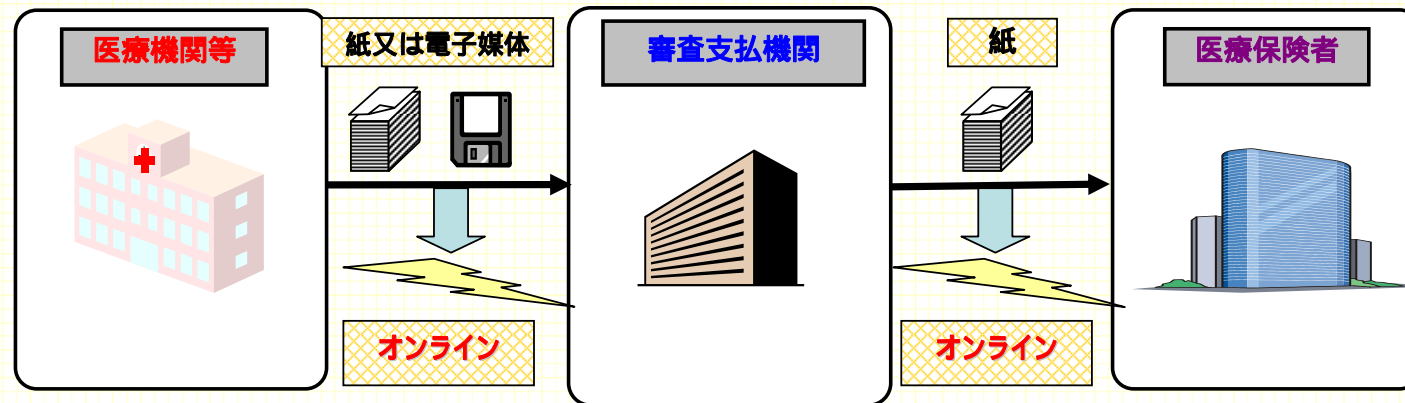
診療報酬請求(レセプト)の完全オンライン化

レセプトの完全オンライン化により医療保険事務のコストを大幅に削減するとともに、レセプトのデータベース化とその疫学的活用により予防医療等を推進し、国民医療費を適正化する。

山間部や離島等におけるネットワークを活用した遠隔医療支援

遠隔医療を推進し、高度な医療を含め地域における医療水準の格差を解消するとともに、地上デジタルテレビ放送等を活用し、救急時の効果的な患者指導・相談への対応を実現する。

レセプトの完全オンライン化の実現



(参考1)重点計画2006の概要(医療)

IT新戦略

1. 2011年度当初までにレセプトの完全オンライン化、データベース化
2. 2010年度までに個人が生涯を通じて健康情報を活用できる基盤を整備
3. 遠隔医療を推進、救急時の効果的な患者指導・相談への対応を実現
4. 導入目的を明確化した上で、電子カルテ等の医療情報システムの普及を推進
5. 医療・健康・介護・福祉分野全般にわたり有機的かつ効果的に情報化を推進

重点計画2006

1. 医療分野等の横断的なグランドデザインの策定
2. 健康情報を活用した高度な予防医療の支援と医療機関による質の高い医療の実現
3. レセプト完全オンライン化の実現
4. 医療における効果的なコミュニケーションの実現

(参考2) 我が国のIT政策の歩み

我が国のIT政策は、「IT戦略」による官民あげた取組により推進。
政府は、「IT戦略」の方向性に従い、IT基本法により定めることとされている「重点計画」を策定の上、具体的施策を展開。

世界のIT革命を先導するフロントランナー



IT新改革戦略
(2006年1月)

ITの構造改革力の追求

自律的IT社会の実現

e-Japan戦略
(2003年7月)

IT利用・活用重視

e-Japan戦略
(2001年1月)

IT基盤整備

「重点計画-2006」
(2006/7)

「e-Japan重点計画-2004」
(2004/6)

「e-Japan重点計画-2003」
(2003/8)

「e-Japan重点計画-2002」
(2002/6)

「e-Japan重点計画」
(2001/3)

2001

2003

2006

2011